

## 集 会 宣 言

私たちは六月六日から二日間、第五九回全国保育問題研究会を京都 web 集会として、開催し、一三〇〇人を超える仲間が web 上で集いました。本来であれば、緑豊かな京都府立大学を会場に、全国各地から期待に胸を膨らませ、笑顔で集いあうこの集会ですが、今年 は世界が初めて経験する新型コロナウイルス感染症の影響で一堂に集うことが困難となり、京都集会実行委員会が検討を重ね、全国常任委員会をはじめたくさんの方々の知恵と力をあわせての、初の web 集会となりました。

「安心を力に 京から踏みだす ドーンと一歩！」をメインテーマに京都保問研では二年以上もの期間を費やして、全国集会を丁寧に取り強く、仲間たちとともに準備してきました。集会案内を全国に送付したころから世界各国や日本で新型コロナウイルス感染症が広がりはじめ社会生活に影響が出はじめました。あまりにも感染力が強く収束の兆しが見えず、今後の予定を立てることが困難となり、今集会は初の参集しない形式をとることに決定しました。

新制度の開始以降、保育の質の低下や保育者不足はより深刻化しています。保育・幼児教育「無償化」が実施されました。保育や幼児教育を豊かにするための政策としてではなく、経済政策、労働政策として打ち出され、子どもの願いや子どもの幸せを願う親やおとなの思いが置き去りにされているなど、さまざまな問題点や制度の不備が指摘されています。

さらに、このたびの新型コロナウイルス感染症拡大の国の対策では医療制度や保育を含めた社会保障制度の弱点が明らかにになり、社会的に弱い立場におかれている人たちは長期間不安な生活を強いられ、まだ継続しています。全国保問研では四月八日に「新型コロナウイルス感染症への対応に関する緊急声明」を出し、乳幼児と保護者、保育者の健康を守るための要望を出しています。

今集会に向け、分科会では、九十二本の提案が用意され、『季刊保育問題研究』三〇二号に掲載されています。各地保問研から日ごろの実践を持ち寄り、提案をもとに思いを語りながら学びあい、交流しあうことのできる楽しい時間がある姿ですが、今年、『季刊保問研』を使つての誌上検討会となるよう準備されました。また各地保問研でも提案号や報告号を使つた学習会などが企画されています。おおいに学びあい次へのエネルギーにしましょう。

また十三の特別講座が用意されました。震災学習委員会が企画した「子どもたちの命を守るために」や京都保問研が企画した「歌あそび」については web 上で動画にて開催しました。保育制度に関わること、子どもや保育に関わることなど引き続き課題として各地保問研でも工夫し、学習を進めていきましょう。

私たちは、昨年の熊本集会の中で、震災などの自然災害から仲間とともに力強く立ち上がる熊本の仲間たちの姿に感動し、つながりあう保問研活動の素晴らしさを学びました。この web 集会でも参集できない状況の中、あらためてつながりあう大切さを実感した集会となりました。歴史を学び継承し、平和な社会と豊かな未来を願い、連帯しながら保問研活動を発展させていくことを決意し、集会宣言(案)とします。